資料③

第１回上尾伊奈資源循環組合ごみ広域処理施設建設検討委員会　議事資料

令和 6 年5 月 31 日（金）

議事（２）上尾伊奈ごみ広域処理事業の経緯　p.1-9
議事（３）今後の検討事項　p.10-11
議事（４）開催スケジュール　p.12-13

議事（２）上尾伊奈ごみ広域処理事業の経緯

上尾伊奈ごみ広域処理事業の経緯について　(1/2)

上尾市

上尾市西貝塚環境センター

施　設	処理能力	稼働開始
焼却処理施設	300t/日(24h)	平成9年度
粗大ごみ処理施設	70t/日(5h)	平成9年度
リサイクル施設 ペットボトル	2.5t/日(5h)	平成15年度

上野ストックヤード

施　設	処理能力	稼働開始
リサイクル施設 空き缶	4.9t/日	平成8年度

伊奈町

伊奈町クリーンセンター

施　設	処理能力	稼働開始
焼却処理施設	60t/日(16h)	平成元年度
粗大ごみ（不燃ごみ）処理施設	25t/日(5h)	平成4年度
容器包装プラスチック減容施設	5t/日(5h)	平成15年度
リサイクル施設 ペットボトル	2.5t/日(5h)	平成15年度

稼働開始から２０年以上が経過し、後継施設の検討が必要となる

平成30年6月　上尾市伊奈町ごみ処理広域化の推進に関する基本合意書を締結

上尾伊奈ごみ広域処理事業の経緯について　(2/2)

令和2年8月　　建設候補地の決定（伊奈町大字小室地内）

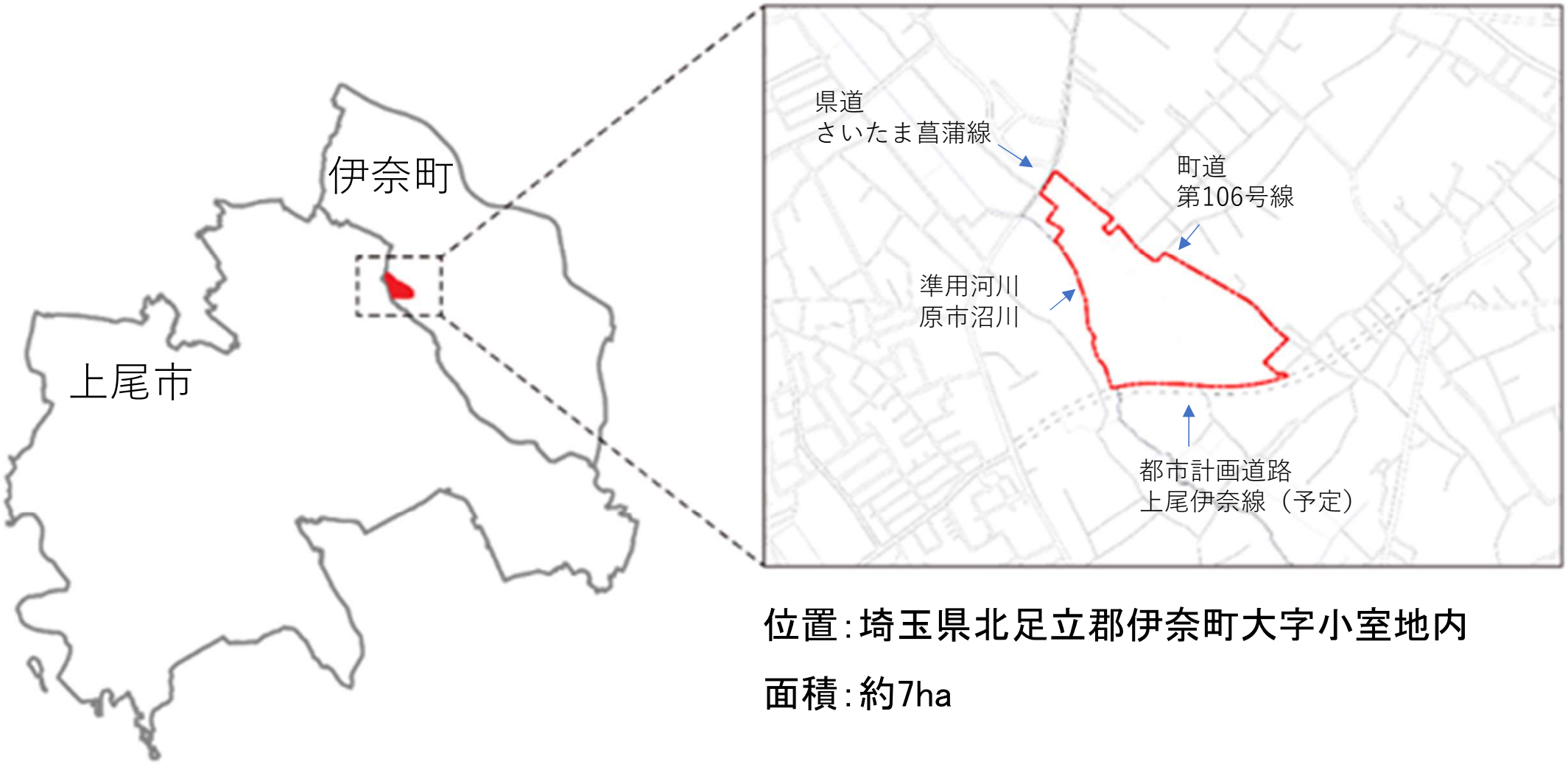
令和4年2月　　上尾市伊奈町広域ごみ処理施設の整備促進に関する合意書を締結

令和4年3月　　上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画を策定

令和5年4月　　上尾伊奈資源循環組合を設立

令和6年3月　　上尾伊奈ごみ広域処理施設整備基本構想を策定

建設予定地について



位置：埼玉県北足立郡伊奈町大字小室地内

面積：約7ha

令和５年度の事業概要について

◎　**ごみ広域処理施設整備基本構想策定**

⇒新ごみ処理施設の整備について、長期的かつ総合的な視点に立ち、周囲への環境に配慮し、安全・安心なごみ処理施設とするための施設整備の基本的な方向性を定めたもの（令和６年３月策定）

◎　**現況測量調査**

⇒ごみ処理施設建設予定地において、UAVレーザ測量（ドローンによる測量）を実施し、現況地盤高を把握、現況平面図を作成

◎　**地質調査**

⇒ごみ処理施設建設予定地内の６か所において、ボーリング調査を実施し、予定地全体の地質の状況を把握

現在実施中の事業について

◎　**ごみ広域処理施設整備基本計画策定（令和６年度～令和７年度）**

⇒基本構想をもとに、ごみ処理施設に必要な施設の種類や規模などを定め、ごみ処理施設の具体的な整備方針を決定（令和７年度の策定を予定）

◎　**環境影響評価（令和５年度～令和８年度）**

⇒埼玉県環境影響評価条例に基づく環境影響評価※の実施

令和５年度末：埼玉県との事前調整等を開始
令和６年秋頃：調査計画書　公告・縦覧（予定）
令和７年冬頃：現地調査開始（予定）
令和８年度　：準備書　　公告・縦覧（予定）

※環境影響評価とは？

大規模な開発事業の実施が環境に及ぼす影響について、周辺地域の環境をあらかじめ調査し、建設工事や施設稼働による周辺環境への影響を予測・評価し、これら（調査計画、予測・評価結果）を公表するとともに、地域住民や関係市等から環境保全上の意見を聴き、これらを事業計画に反映させることにより、公害防止や自然環境保全を図るための制度となります。

施設整備基本方針（コンセプト）について

① 環境にやさしい施設

2050年カーボンニュートラルに向け、資源循環や脱炭素化に寄与するとともに、周囲への環境負荷の低減が図れた施設とします。

また、省エネルギーや再生可能エネルギーの取組に配慮するとともに、ごみ処理により発生するエネルギーを効率よく回収し、有効に活用できる施設とします。

② 安全、安心で、安定した施設

施設周辺の安全性に配慮し、事故や公害等が発生しない安全・安心な施設にするとともに、施設の強靭性を確保し、災害時にも安定稼働できる施設とします。

また、将来の社会情勢の変化に対応し、長期間にわたり安定的にごみ処理を行える施設とします。

③ 地域に貢献し、住民に親しまれる施設

周囲の景観に配慮するとともに、積極的に情報を発信し、施設見学や環境学習等を通じて、住民の方々が気軽に立ち寄ることのできる開かれた施設とします。

また、災害時には防災拠点等として機能することで、地域に貢献できる施設とします。

④ 経済性に優れた施設

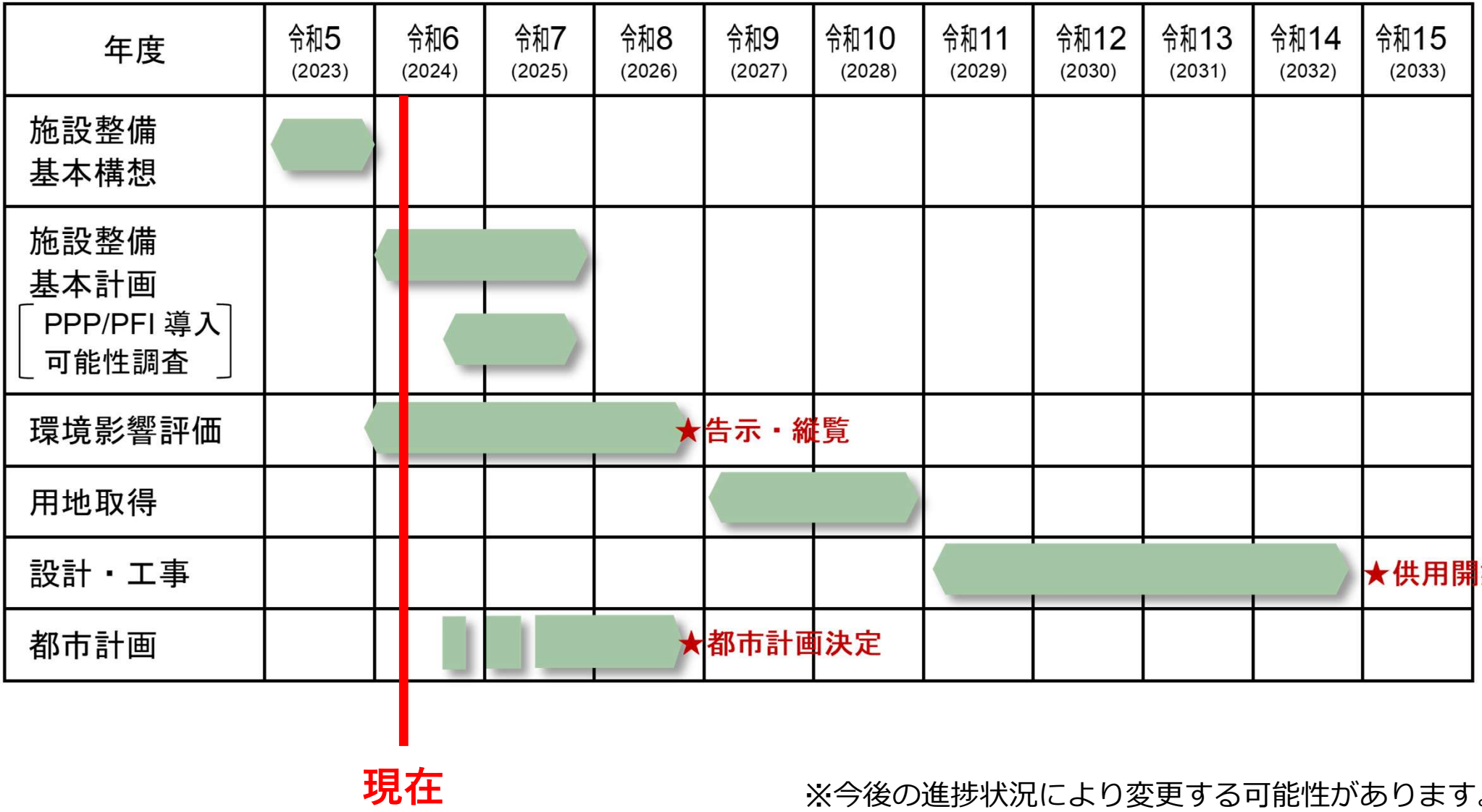
耐久性を備え、経済的かつ効率的な設備や機器を導入し、ライフサイクルコストに優れた施設とします。

施設整備基本計画における主な検討事項について

第６章　施設整備基本構想
6.1　建設予定地の概況
6.2　処理対象物の検討
6.3　施設規模の検討
6.4　ごみ処理方式の検討
6.5　公害防止対策の検討
6.6　主要な施設構成
6.7　施設配置の検討
6.8　エネルギーの有効活用について
6.9　地域貢献、環境教育機能について
6.10　施設の強靭性、防災機能について
第７章　事業方式
第８章　財源計画

ごみ広域処理施設整備基本構想で検討した方向性を土台とし、
具体的な整備方針を施設整備基本計画で検討してまいります。

事業スケジュールについて



※今後の進捗状況により変更する可能性があります。

議事（３）今後の検討事項

時期	内容
■第２回検討委員会(7/23)	・環境影響評価調査計画書に記載する施設概要の検討 例）配置・動線、ごみ処理量、各種施設諸元、主要設備、焼却残渣処理・処分方法、公害防止対策・環境保全計画、車両運行計画、工事計画 ・処理方式の検討
令和６年９月	埼玉県への環境影響評価調査計画書の提出
■第３回検討委員(11/19)	・土木建築計画の検討 ・プラント設備計画の検討 ・処理方式の検討 ・エネルギー利活用の検討
■第４回検討委員会(2/5)	・先進技術導入可能性の検討 ・メーカーヒアリングの内容に関する検討
令和７年２月	中間答申
令和７年３月	プラントメーカーへのヒアリングの実施

議事（４）開催スケジュール

	日時	場所
第２回検討委員会	令和６年７月２３日（火） 午前１０時００分から	イコス上尾 （３階 音楽室兼大会議室）
第３回検討委員会	令和６年１１月１９日（火） 午後２時００分から	イコス上尾 （２階 研修室）
第４回検討委員会	令和７年２月５日（水） 午後２時００分から	イコス上尾 （２階 研修室）

各開催日の２週間前を目安に、開催通知・会議資料等を送付します。